

令和6年度 魚沼市立 すもんこども園 園評価

1 魚沼市保育方針

家庭や地域と協力しながら、楽しくあたたかい雰囲気の中で、子どもの気持ちを尊重し、明るくのびのびとした子どもに育てる。

2 保育目標

- ・明るく元気な子
- ・心豊かな子
- ・自立できる子
- ・人と関わり、共に育ちあう子
- ・自然に目を向け親しむ子

3 園評価の記録

- ・「学校評価」①目標達成計画作成(4月)②目標達成計画・中間評価(9月)③目標達成計画・年度末評価(3月)
- ・「学校評価」保護者アンケート(8月・12月・3月)
- ・園評価についての共通認識(4月)
- ・保育教諭による中間自己評価(9月)
- ・保護者アンケート(3月)
- ・総括的な自己評価(3月)

A・・・実施されている
B・・・実施されているが不十分である
C・・・実施できていない

4 各項目の評価

項目	内容	評価	理由(B、またはCの場合)
保育目標	1. 保育理念、保育目標を職員保護者に周知するために提示している。	A	
	2. 保育理念、保育目標を全職員が共通理解をしている。	A	
園運営	1. 園長・副園長・職員の業務分担を明確にしている。	A	
	2. 職員相互がそれぞれの立場を理解し、園運営にかかわっている。	A	
保育内容	1. 保育指針・こども園教育保育要領に基づき、乳幼児の実態に即した指導計画を作成している。	A	
	2. 保育の計画、評価、反省を常に行い、よりよい保育を目指している。	A	
	3. 全ての園児において、最善の利益と一人ひとりの人権を尊重している。	A	
	4. 行事等のねらいを明確にし、年齢に応じた発達と主体性を育てるようにしている。	A	
	5. 同年齢及び異年齢児間の効果的な保育活動の充実を図っている。	A	
	6. 教育及び保育の内容について保護者の理解が得られるよう努めている。	A	
安全・環境	1. 園内外の安全点検を定期的に行っている。	A	
	2. 緊急時のために、関係機関等の連絡先が明示されている。	A	
	3. 消防計画を作成し、毎月避難訓練を行い、非常時に避難誘導できる体制をつくっている。	A	
	4. 衛生面に配慮している。	A	
	5. 安全で心地よく過ごせるよう、採光や換気、温度、湿度に配慮している。	A	

A・・・実施されている
 B・・・実施されているが不十分である
 C・・・実施できていない

項目	内容	評価	理由(B、またはCの場合)
健康管理	1. 健康診断を定期的実施し、結果を保護者に伝えている。	A	
	2. 感染症等の予防対策やマニュアルが用意されている。	A	
	3. 玩具、遊具等は常に衛生的に保持している。	A	
給食	1. 食育計画に基づき、楽しく食事ができる環境にしている。	A	
	2. 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A	
	3. 食物アレルギーのある園児には適切な対応をしている。	A	
保護者対応	1. 保護者への対応は丁寧に行い、不安や不信感を感じさせないように努めている。	A	
	2. 苦情解決の仕組みを掲示し、適切に対処している。	A	
	3. 個別懇談等で保護者との連携を図り、園児を理解するよう努めている。	A	
守秘義務	1. 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A	
	2. 園児の個人記録は、個人情報保護法に基づき管理保管している。	A	
地域のかかわり	1. 地域の行事に参加したり協力したりしている。	A	
	2. 高齢者や、小中学校等との交流をしている。	A	地域の3か所の老健施設には訪問はできませんでしたが、園児からの手作りのプレゼントをお渡しでき喜ばれました。また、小中学校とは園児・児童・生徒だけでなく、教職員間でも交流ができお互いの教育内容を知ることにつながりました。

5 よりよい保育を行っていくための改善策

・園行事や子どもたちの教育・保育活動に対しては、実施方法や活動内容の検討を計画的に行い、「すもんこども園グランドデザイン」に示されている「教育・保育目標」「重点目標」「クラス目標」等達成のため、職員が共通理解・共通認識の基、教育・保育を行います。また、クラス懇談会や個人面談の実施等、情報発信の機会を多くし、保護者の皆様にもわかりやすくお伝えしていきます。 ・保護者の皆様一人一人の思いに丁寧に関わり、信頼関係を築き、相互協力関係を大切にしながら、教育・保育活動の充実に努めます。 ・園児の健康観察や適切な衛生環境を心掛け、感染症情報を保護者や職員と共有し、安心・安全な教育・保育環境の提供に努めます。 ・魚沼北中学校区教育振興会への参加を通して、地元の小中学校との関係を強化し、子どもたちの育ちの連続性を保障していけるように努めます。また、関係機関と連携を取り合い、保護者の皆様一人一人の思いに寄り添った子育ての援助を行っていきます。 ・オンライン研修を含めた園外研修等への参加を積極的に行うとともに、専門的な知識を習得し職員間で情報共有を行いながら、温かい教育・保育実現を目指します。 ・地域子育て支援事業「親子広場・かるがも」の利用者は減少傾向にありますが、「園児との触れ合いタイム」を計画し、今後も利用者の思いに寄り添い、楽しい遊びの提供と相談しやすい雰囲気作りに心掛け、地域子育て支援事業の拠点としての役割を果たしていきます。
--